

<所属診療科別> Aa:小児治験の実施に対する意識(促進要因)得点の差 (分散分析)

項目		自由度	F 値	有意確率
a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	グループ間 グループ内	2 783	4.623	0.010
a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない	グループ間 グループ内	2 753	5.995	0.003
a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある	グループ間 グループ内	2 783	9.468	0.000
a07 小児治験によって得られるデータは有用である	グループ間 グループ内	2 779	3.033	0.049
a09 オフラベル(適応外使用)問題を解決することが望ましい	グループ間 グループ内	2 783	6.782	0.001
a11 小児治験に参加すると研究費が病院の収入になるのが良い	グループ間 グループ内	2 770	0.735	0.480
a13 未承認薬でも必要とする患児がいるため使用せざるを得ない	グループ間 グループ内	2 780	7.207	0.001
a15 小児治験への参加は小児科医として必要である	グループ間 グループ内	2 774	3.926	0.020
a17 小児用薬品の安全性の確保が必要である	グループ間 グループ内	2 784	0.547	0.579
a19 小児治験に参加することで医師も新たな知識を得ることができる	グループ間 グループ内	2 781	2.476	0.085
a21 安全性が確認された治療薬の選択肢が乏しい	グループ間 グループ内	2 782	2.352	0.096
a23 小児治験に参加することで医師も学問的関与の機会が増える	グループ間 グループ内	2 779	1.205	0.300
a25 小児用薬剤の安全性の検討は成人用と比べて極めて少ない	グループ間 グループ内	2 782	1.824	0.162
a27 新薬が早く開発されることによって助かる命も多くなる	グループ間 グループ内	2 780	9.654	0.000
a29 根拠に基づく科学的な医療が行われなければならない	グループ間 グループ内	2 780	3.608	0.028
a31 新薬を使用することは患児への貢献となる	グループ間 グループ内	2 764	3.058	0.048
a33 小児用医薬品についてエビデンスを積み重ねなければならない	グループ間 グループ内	2 782	6.205	0.002
a35 有効な治療薬の開発に寄与したい	グループ間 グループ内	2 775	7.255	0.001
a37 小児医療の質を向上させなければならない	グループ間 グループ内	2 782	3.344	0.036
a39 新薬の開発に関する研究に貢献していきたい	グループ間 グループ内	2 775	7.434	0.001

<所属診療科別> Ab:小児治験の実施に対する意識(阻害要因)得点の差 (分散分析)

項目		自由度	F 値	有意確率
b02 小児治験は入院病棟のある施設で行うことが望ましい	グループ間 グループ内	2 781	1.208	0.299
b04 人手不足により日常診療業務をこなすのに精一杯である	グループ間 グループ内	2 781	2.920	0.055
b06 日常の診療業務に追われていて小児治験に参加する時間的余裕がない	グループ間 グループ内	2 783	0.280	0.756
b08 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための労力が負担である	グループ間 グループ内	2 781	0.057	0.944
b10 小児治験よりも他の研究のために時間を費やしたい	グループ間 グループ内	2 773	1.913	0.148
b12 小児治験での手間のかかる煩雑な事務手続きが負担である	グループ間 グループ内	2 780	0.963	0.382
b14 小児治験について患児へ説明することが難しい	グループ間 グループ内	2 780	0.222	0.801
b16 小児治験は責任が重大であり負担である	グループ間 グループ内	2 776	0.391	0.677
b18 小児治験について保護者へ説明することが難しい	グループ間 グループ内	2 778	0.103	0.903
b20 小児治験に対して興味や関心がない	グループ間 グループ内	2 779	2.559	0.078
b22 小児治験の参加について患児の理解と同意を得ることができない	グループ間 グループ内	2 772	2.453	0.087
b24 小児治験に関する作業内容がわからない	グループ間 グループ内	2 776	0.291	0.747
b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない	グループ間 グループ内	2 777	1.022	0.360
b28 有害事象時の対応が可能か不安である	グループ間 グループ内	2 779	1.206	0.300
b30 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得ることができない	グループ間 グループ内	2 772	0.553	0.576
b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない	グループ間 グループ内	2 776	2.162	0.116
b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない	グループ間 グループ内	2 771	0.831	0.436
b36 子どもを対象として治験を行うことがためられる	グループ間 グループ内	2 776	1.739	0.176
b38 小児治験に参加しようとする患児や保護者は少ない	グループ間 グループ内	2 776	0.305	0.737
b40 経験済みの使い慣れた薬物で治療を進めたい	グループ間 グループ内	2 768	0.884	0.413

<所属診療科別> B:小児治験の課題に対する意識得点の差 (分散分析)

項目		自由度	F 値	有意確率
41 患児の代理判断の仕組みについて検討する必要がある	グループ間 グループ内	2 777	0.656	0.519
42 患児や保護者とのトラブル発生時の支援体制があると良い	グループ間 グループ内	2 782	0.589	0.555
43 専門性の高い小児治験コーディネーターを育成する必要がある	グループ間 グループ内	2 780	2.806	0.061
44 患児との間に良好な信頼関係を築く必要がある	グループ間 グループ内	2 781	3.944	0.020
45 開業医でも参加しやすいシステムが整備されると良い	グループ間 グループ内	2 778	1.119	0.327
46 「実験台にされる」という小児治験に対する被害的なイメージを変えていく必要がある	グループ間 グループ内	2 782	0.687	0.504
47 小児治験への認識を高めるために情報公開をする必要がある	グループ間 グループ内	2 781	4.704	0.009
48 小児治験への参加によって保護者が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	グループ間 グループ内	2 778	3.063	0.047
49 適応外使用の現状について社会全体に啓発していく必要がある	グループ間 グループ内	2 780	4.094	0.017
50 製薬会社へのインセンティブを考慮する必要がある	グループ間 グループ内	2 767	0.927	0.396
51 行政的な小児治験支援システムが構築される必要がある	グループ間 グループ内	2 775	2.739	0.065
52 保護者との間に良好な信頼関係を築く必要がある	グループ間 グループ内	2 779	1.129	0.324
53 有害事象発生時の支援体制があると良い	グループ間 グループ内	2 780	1.643	0.194
54 小児治験コーディネーターが病院内に常駐できると良い	グループ間 グループ内	2 777	4.369	0.013
55 保護者だけでなく子ども自身に対しても十分な説明が必要である	グループ間 グループ内	2 776	7.890	0.000
56 患児自身に利益があるかを中心に考える必要がある	グループ間 グループ内	2 777	0.440	0.644
57 小児治験の必要性について社会全体に啓発していく必要がある	グループ間 グループ内	2 780	5.817	0.003
58 小児治験に精通した医師を養成する必要がある	グループ間 グループ内	2 780	4.734	0.009
59 小児治験への参加によって患児が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	グループ間 グループ内	2 777	1.727	0.179
60 医師へのインセンティブを考慮する必要がある	グループ間 グループ内	2 769	0.890	0.411

<所属診療科別> C:小児治験の参加に対する意識得点の差 (分散分析)

項目		自由度	F 値	有意確率
61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる	グループ間	2	8.958	0.000
	グループ内	779		
62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある	グループ間	2	3.526	0.030
	グループ内	776		
63 現在自分は小児治験に積極的に取り組むことのできる環境にいる	グループ間	2	5.447	0.004
	グループ内	779		
64 今後自分は小児治験に積極的に取り組んでいきたい	グループ間	2	10.815	0.000
	グループ内	771		

<所属診療科別> 小児治験の実施に対する意識得点の差（多重比較）

小児科 \* 小児専門の診療科

項目		(I) D 所属 診療科	(J) D 所属 診療科	平均値 の差 (I-J)	有意 確率
促進	a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない	小児科	小児専門 の診療科	.169*	.006
	a27 新薬が早く開発されることによって助かる命も多くなる			.202*	.001
	a35 有効な治療薬の開発に寄与したい			.182*	.001
	a39 新薬の開発に関する研究に貢献していきたい			.216*	.000
課題	55 保護者だけでなく子ども自身に対しても十分な説明が必要である			.139*	.039
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる			.193*	.047
	64 今後自分は小児治験に積極的に取り組んでいきたい	.154*	.032		

小児科 \* その他の診療科

項目		(I) D 所属 診療科	(J) D 所属 診療科	平均値 の差 (I-J)	有意 確率
促進	a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	小児科	その他の 診療科	.319*	.016
	a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある			.409*	.000
	a09 オフラベル(適応外使用)問題を解決することが望ましい			.366*	.002
	a13 未承認薬でも必要とする患児がいるため使用せざるを得ない			.366*	.002
	a15 小児治験への参加は小児科医として必要である			.277*	.041
	a27 新薬が早く開発されることによって助かる命も多くなる			.312*	.017
	a33 小児用医薬品についてエビデンスを積み重ねなければならない			.301*	.009
	a37 小児医療の質を向上させなければならない			.244*	.046
課題	44 患児との間に良好な信頼関係を築く必要がある			.283*	.017
	47 小児治験への認識を高めるために情報公開をする必要がある			.316*	.006
	49 の現状について社会全体に啓発していく必要がある			.302*	.012
	54 小児治験コーディネーターが病院内に常駐できると良い			.361*	.020
	55 保護者だけでなく子ども自身に対しても十分な説明が必要である			.388*	.003
	57 小児治験の必要性について社会全体に啓発していく必要がある			.357*	.002
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる			.617*	.001
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある			.400*	.025
	63 現在自分は小児治験に積極的に取り組むことのできる環境にいる	.477*	.004		
	64 今後自分は小児治験に積極的に取り組んでいきたい	.524*	.000		

小児専門の診療科 \* その他の診療科

項目		(I) D 所属 診療科	(J) D 所属 診療科	平均値 の差 (I-J)	有意 確率
促進	a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	小児専門 の診療科	その他の 診療科	.376*	.007
	a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある			.291*	.029
	a09 オフラベル(適応外使用)問題を解決することが望ましい			.287*	.033
	a13 未承認薬でも必要とする患児がいるため使用せざるを得ない			.272*	.044
課題	47 小児治験への認識を高めるために情報公開をする必要がある			.311*	.015
	49 の現状について社会全体に啓発していく必要がある			.287*	.032
	57 小児治験の必要性について社会全体に啓発していく必要がある			.326*	.011
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる			.425*	.050
	63 現在自分は小児治験に積極的に取り組むことのできる環境にいる			.407*	.030
	64 今後自分は小児治験に積極的に取り組んでいきたい			.369*	.020

<専門領域別> Aa:小児治験の実施に対する意識(促進要因)の記述統計

項目	属性	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	項目	属性	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	小児内科	438	3.39	578	2	4	a07 小児治験によって得られるデータは有用である	小児内科	434	3.38	519	1	4
	神経内科	19	3.74	452	3	4		神経内科	19	3.58	507	3	4
	循環器科	33	3.55	666	1	4		循環器科	33	3.42	561	2	4
	麻酔科	16	3.38	619	2	4		麻酔科	16	3.25	447	3	4
	血液・腫瘍科	63	3.60	493	3	4		血液・腫瘍科	63	3.44	501	3	4
	未熟児・新生児科	71	3.52	531	2	4		未熟児・新生児科	71	3.38	517	2	4
	腎臓・泌尿器科	35	3.63	490	3	4		腎臓・泌尿器科	34	3.53	507	3	4
	精神・心療内科	12	3.42	669	2	4		精神・心療内科	12	3.33	492	3	4
	内分泌・代謝科	10	3.40	516	3	4		内分泌・代謝科	10	3.20	422	3	4
	アレルギー・感染症科	17	3.24	562	2	4		アレルギー・感染症科	17	3.47	514	3	4
	産婦人科	2	3.50	707	3	4		産婦人科	2	3.00	000	3	3
	小児外科	19	3.37	761	2	4		小児外科	19	3.26	562	2	4
	整形外科	8	3.13	354	3	4		整形外科	9	3.22	441	3	4
	心臓外科	10	3.60	516	3	4		心臓外科	10	3.60	516	3	4
	眼科	5	3.40	548	3	4		眼科	5	3.40	548	3	4
	耳鼻咽喉科	4	2.75	500	2	3		耳鼻咽喉科	4	2.75	500	2	3
	脳神経外科	8	3.38	518	3	4		脳神経外科	8	3.25	463	3	4
	形成外科	5	3.00	707	2	4		形成外科	5	3.40	548	3	4
	歯科	2	4.00	000	4	4		歯科	2	3.00	000	3	3
	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.75	500	2	3		呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.25	500	3	4
a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない	小児内科	420	3.47	532	1	4	a09 オフラベル(適応外使用)問題を解決することが望ましい	小児内科	438	3.48	514	2	4
	神経内科	16	3.69	479	3	4		神経内科	19	3.58	607	2	4
	循環器科	31	3.35	709	1	4		循環器科	33	3.45	564	2	4
	麻酔科	16	3.19	544	2	4		麻酔科	15	3.40	507	3	4
	血液・腫瘍科	60	3.57	533	2	4		血液・腫瘍科	63	3.48	535	2	4
	未熟児・新生児科	71	3.59	495	3	4		未熟児・新生児科	71	3.58	525	2	4
	腎臓・泌尿器科	35	3.66	482	3	4		腎臓・泌尿器科	35	3.54	505	3	4
	精神・心療内科	12	3.08	515	2	4		精神・心療内科	12	3.33	492	3	4
	内分泌・代謝科	10	3.30	483	3	4		内分泌・代謝科	10	3.30	483	3	4
	アレルギー・感染症科	17	3.71	470	3	4		アレルギー・感染症科	17	3.24	562	2	4
	産婦人科	2	3.50	707	3	4		産婦人科	2	3.00	000	3	3
	小児外科	17	3.35	606	2	4		小児外科	19	3.26	452	3	4
	整形外科	9	3.22	441	3	4		整形外科	9	3.44	527	3	4
	心臓外科	9	3.22	667	2	4		心臓外科	10	3.30	675	2	4
	眼科	5	3.20	447	3	4		眼科	5	3.20	447	3	4
	耳鼻咽喉科	4	3.25	500	3	4		耳鼻咽喉科	4	3.25	500	3	4
	脳神経外科	6	3.33	516	3	4		脳神経外科	8	3.13	641	2	4
	形成外科	5	2.80	447	2	3		形成外科	5	3.60	548	3	4
	歯科	2	4.00	000	4	4		歯科	2	3.00	000	3	3
	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	816	2	4		呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	000	3	3
a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある	小児内科	437	3.49	532	1	4	a11 小児治験に参加すると研究費が病院の収入になるのが良い	小児内科	431	2.69	673	1	4
	神経内科	19	3.58	507	3	4		神経内科	18	2.67	767	1	4
	循環器科	33	3.48	566	2	4		循環器科	32	2.41	756	1	4
	麻酔科	16	3.31	479	3	4		麻酔科	16	2.75	775	1	4
	血液・腫瘍科	63	3.71	455	3	4		血液・腫瘍科	61	2.75	830	1	4
	未熟児・新生児科	71	3.63	485	3	4		未熟児・新生児科	70	2.60	668	1	4
	腎臓・泌尿器科	35	3.57	502	3	4		腎臓・泌尿器科	34	2.44	824	1	4
	精神・心療内科	12	3.08	515	2	4		精神・心療内科	12	2.67	492	2	3
	内分泌・代謝科	10	3.50	527	3	4		内分泌・代謝科	10	2.30	949	1	3
	アレルギー・感染症科	17	3.35	493	3	4		アレルギー・感染症科	17	2.65	996	1	4
	産婦人科	2	3.00	000	3	3		産婦人科	2	3.00	000	3	3
	小児外科	19	3.32	478	3	4		小児外科	19	2.89	459	2	4
	整形外科	9	3.22	441	3	4		整形外科	9	2.22	667	1	3
	心臓外科	10	3.50	707	2	4		心臓外科	10	2.60	843	1	4
	眼科	5	3.00	707	2	4		眼科	5	3.00	707	2	4
	耳鼻咽喉科	4	3.25	500	3	4		耳鼻咽喉科	4	3.00	816	2	4
	脳神経外科	8	3.25	463	3	4		脳神経外科	7	2.86	690	2	4
	形成外科	5	3.00	707	2	4		形成外科	5	2.40	1140	1	4
	歯科	2	2.50	707	2	3		歯科	2	2.50	707	2	3
	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.25	500	3	4		呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.00	816	1	3

項目	属性	症数	平均値	標準差	最小値	最大値	項目	属性	症数	平均値	標準差	最小値	最大値
a13 未承認薬でも必要とする患児がいるため使用せざるを得ない	小児内科	435	3.49	523	2	4	a19 小児治療に参加することで医師も新たな知識を得ることができる	小児内科	437	3.14	497	2	4
	神経内科	19	3.74	452	3	4		神経内科	19	3.42	507	3	4
	循環器科	33	3.52	508	3	4		循環器科	33	2.91	631	1	4
	麻酔科	16	3.19	544	2	4		麻酔科	16	2.94	680	1	4
	血液・腫瘍科	63	3.67	475	3	4		血液・腫瘍科	61	3.20	477	2	4
	未熟児・新生児科	71	3.58	497	3	4		未熟児・新生児科	71	3.14	593	2	4
	腎臓・泌尿器科	34	3.56	561	2	4		腎臓・泌尿器科	35	3.11	583	2	4
	精神・心療内科	12	3.50	522	3	4		精神・心療内科	12	3.08	289	3	4
	内分泌・代謝科	10	3.30	675	2	4		内分泌・代謝科	10	3.10	568	2	4
	アレルギー・感染症科	17	3.53	624	2	4		アレルギー・感染症科	17	3.12	600	2	4
	産婦人科	2	3.00	000	3	3		産婦人科	2	3.00	000	3	3
	小児外科	19	3.26	562	2	4		小児外科	19	2.74	562	1	3
	整形外科	9	3.22	441	3	4		整形外科	9	3.00	500	2	4
	心臓外科	10	3.40	516	3	4		心臓外科	10	3.20	422	3	4
	眼科	5	3.00	000	3	3		眼科	5	2.80	447	2	3
	耳鼻咽喉科	4	3.25	957	2	4		耳鼻咽喉科	4	3.00	000	3	3
	脳神経外科	8	3.13	354	3	4		脳神経外科	8	2.88	354	2	3
	形成外科	5	3.80	447	3	4		形成外科	5	3.20	837	2	4
歯科	2	3.00	000	3	3	歯科	2	2.50	707	2	3		
呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.75	500	2	3	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.25	500	3	4		
a15 小児治療への参加は小児科医として必要である	小児内科	435	3.05	533	1	4	a21 安全性が確認された治療薬の選択肢が乏しい	小児内科	437	3.06	585	1	4
	神経内科	19	3.21	535	2	4		神経内科	19	3.32	671	2	4
	循環器科	33	3.00	750	1	4		循環器科	33	3.12	650	1	4
	麻酔科	16	2.81	403	2	3		麻酔科	16	2.94	443	2	4
	血液・腫瘍科	62	3.16	451	2	4		血液・腫瘍科	62	3.02	528	2	4
	未熟児・新生児科	71	3.11	549	1	4		未熟児・新生児科	71	3.21	607	2	4
	腎臓・泌尿器科	34	3.06	489	2	4		腎臓・泌尿器科	35	3.40	604	2	4
	精神・心療内科	12	2.83	389	2	3		精神・心療内科	12	3.25	622	2	4
	内分泌・代謝科	10	3.00	471	2	4		内分泌・代謝科	10	3.10	568	2	4
	アレルギー・感染症科	17	3.24	437	3	4		アレルギー・感染症科	17	2.76	562	2	4
	産婦人科	2	3.00	000	3	3		産婦人科	2	3.00	000	3	3
	小児外科	18	2.89	676	1	4		小児外科	19	3.00	577	2	4
	整形外科	9	2.78	441	2	3		整形外科	9	3.00	000	3	3
	心臓外科	10	2.80	632	1	3		心臓外科	10	3.20	632	2	4
	眼科	5	2.40	548	2	3		眼科	5	3.00	707	2	4
	耳鼻咽喉科	3	3.00	1,000	2	4		耳鼻咽喉科	4	3.00	816	2	4
	脳神経外科	5	2.80	447	2	3		脳神経外科	8	3.00	000	3	3
	形成外科	5	2.40	548	2	3		形成外科	5	2.60	548	2	3
歯科	2	3.00	000	3	3	歯科	2	3.00	000	3	3		
呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.75	500	2	3	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.75	500	2	3		
a17 小児用薬品の安全性の確保が必要である	小児内科	438	3.40	490	3	4	a23 小児治療に参加することで医師も学問的関与の機会が増える	小児内科	436	3.00	482	1	4
	神経内科	19	3.42	607	2	4		神経内科	19	3.16	602	2	4
	循環器科	33	3.33	540	2	4		循環器科	32	2.94	564	2	4
	麻酔科	16	3.25	447	3	4		麻酔科	16	2.81	544	2	4
	血液・腫瘍科	63	3.41	496	3	4		血液・腫瘍科	62	3.02	496	2	4
	未熟児・新生児科	71	3.51	504	3	4		未熟児・新生児科	71	3.07	593	1	4
	腎臓・泌尿器科	35	3.43	558	2	4		腎臓・泌尿器科	35	3.03	514	2	4
	精神・心療内科	12	3.42	515	3	4		精神・心療内科	12	3.00	426	2	4
	内分泌・代謝科	10	3.20	422	3	4		内分泌・代謝科	10	2.90	316	2	3
	アレルギー・感染症科	17	3.59	507	3	4		アレルギー・感染症科	17	3.00	612	2	4
	産婦人科	2	3.50	707	3	4		産婦人科	2	3.00	000	3	3
	小児外科	19	3.32	478	3	4		小児外科	19	2.79	535	2	4
	整形外科	9	3.11	333	3	4		整形外科	9	2.78	441	2	3
	心臓外科	10	3.50	527	3	4		心臓外科	10	2.80	632	1	3
	眼科	5	3.00	000	3	3		眼科	5	2.60	548	2	3
	耳鼻咽喉科	4	3.25	500	3	4		耳鼻咽喉科	4	3.00	000	3	3
	脳神経外科	8	3.25	463	3	4		脳神経外科	8	2.88	354	2	3
	形成外科	5	3.60	548	3	4		形成外科	5	3.00	707	2	4
歯科	2	3.00	000	3	3	歯科	2	2.50	707	2	3		
呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.50	577	3	4	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	000	3	3		



項目	属性	2017				2018				項目	属性	2017				2018			
		件数	平均年齢	総床数	病床数	件数	平均年齢	総床数	病床数			件数	平均年齢	総床数	病床数	件数	平均年齢	総床数	病床数
a25 小児用薬剤の安全性の検討は成人用と比べて極めて少ない	小児内科	436	3.14	627	1	4	a31 新薬を使用することは患児への貢献となる	小児内科	426	3.00	518	2	4						
	神経内科	19	3.47	612	2	4		神経内科	18	3.17	514	2	4						
	循環器科	33	3.30	529	2	4		循環器科	32	2.97	474	2	4						
	麻酔科	16	3.06	574	2	4		麻酔科	15	2.60	507	2	3						
	血液・腫瘍科	63	3.22	552	2	4		血液・腫瘍科	61	3.11	608	2	4						
	未熟児・新生児科	71	3.28	701	2	4		未熟児・新生児科	71	2.99	597	2	4						
	腎臓・泌尿器科	35	3.34	591	2	4		腎臓・泌尿器科	34	3.12	537	2	4						
	精神・心療内科	12	3.42	515	3	4		精神・心療内科	11	2.64	505	2	3						
	内分泌・代謝科	10	3.00	667	2	4		内分泌・代謝科	10	3.00	471	2	4						
	アレルギー・感染症科	17	3.12	600	2	4		アレルギー・感染症科	17	3.06	556	2	4						
	産婦人科	2	3.00	000	3	3		産婦人科	2	3.00	000	3	3						
	小児外科	19	3.11	459	2	4		小児外科	19	2.74	452	2	3						
	整形外科	9	2.89	601	2	4		整形外科	9	2.89	333	2	3						
	心臓外科	10	3.70	483	3	4		心臓外科	10	3.20	632	2	4						
	眼科	5	2.80	837	2	4		眼科	4	2.50	577	2	3						
	耳鼻咽喉科	4	3.00	816	2	4		耳鼻咽喉科	4	3.00	816	2	4						
	脳神経外科	8	3.00	000	3	3		脳神経外科	8	2.88	354	2	3						
形成外科	5	2.80	837	2	4	形成外科	5	2.60	548	2	3								
歯科	2	3.00	000	3	3	歯科	2	3.00	000	3	3								
呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	000	3	3	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	000	3	3								
a27 新薬が早く開発されることによって助かる命も多くなる	小児内科	435	3.21	548	2	4	a33 小児用医薬品についてエビデンスを積み重ねなければならぬ	小児内科	437	3.33	500	2	4						
	神経内科	19	3.37	496	3	4		神経内科	19	3.37	496	3	4						
	循環器科	33	3.21	545	2	4		循環器科	33	3.30	529	2	4						
	麻酔科	16	2.88	719	2	4		麻酔科	16	3.31	479	3	4						
	血液・腫瘍科	63	3.46	563	2	4		血液・腫瘍科	62	3.35	546	2	4						
	未熟児・新生児科	70	3.19	666	2	4		未熟児・新生児科	71	3.55	510	2	4						
	腎臓・泌尿器科	35	3.03	618	2	4		腎臓・泌尿器科	35	3.46	561	2	4						
	精神・心療内科	12	2.92	289	2	3		精神・心療内科	12	3.17	389	3	4						
	内分泌・代謝科	10	3.20	422	3	4		内分泌・代謝科	10	3.10	316	3	4						
	アレルギー・感染症科	17	3.29	470	3	4		アレルギー・感染症科	17	3.47	514	3	4						
	産婦人科	2	3.00	000	3	3		産婦人科	2	3.00	000	3	3						
	小児外科	19	2.89	567	2	4		小児外科	19	3.05	405	2	4						
	整形外科	9	3.11	333	3	4		整形外科	9	3.00	000	3	3						
	心臓外科	10	3.40	699	2	4		心臓外科	10	3.00	667	2	4						
	眼科	5	2.40	548	2	3		眼科	5	3.20	447	3	4						
	耳鼻咽喉科	4	3.00	000	3	3		耳鼻咽喉科	4	3.25	500	3	4						
	脳神経外科	8	2.75	707	2	4		脳神経外科	8	3.25	463	3	4						
形成外科	5	2.80	447	2	3	形成外科	5	3.20	447	3	4								
歯科	2	3.00	000	3	3	歯科	2	3.00	000	3	3								
呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	000	3	3	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	000	3	3								
a29 根拠に基づく科学的な医療が行われなければならない	小児内科	436	3.34	516	2	4	a35 有効な治療薬の開発に寄与したい	小児内科	432	3.06	487	1	4						
	神経内科	19	3.37	496	3	4		神経内科	19	3.32	478	3	4						
	循環器科	33	3.15	508	2	4		循環器科	33	3.15	508	2	4						
	麻酔科	15	3.40	507	3	4		麻酔科	16	2.75	577	2	4						
	血液・腫瘍科	63	3.35	544	2	4		血液・腫瘍科	61	3.26	603	1	4						
	未熟児・新生児科	71	3.32	580	2	4		未熟児・新生児科	71	3.08	554	2	4						
	腎臓・泌尿器科	35	3.43	502	3	4		腎臓・泌尿器科	35	3.11	471	2	4						
	精神・心療内科	12	3.17	389	3	4		精神・心療内科	12	2.67	492	2	3						
	内分泌・代謝科	10	3.20	422	3	4		内分泌・代謝科	10	3.10	568	2	4						
	アレルギー・感染症科	17	3.41	618	2	4		アレルギー・感染症科	16	3.25	577	2	4						
	産婦人科	2	3.50	707	3	4		産婦人科	2	3.00	000	3	3						
	小児外科	19	3.00	333	2	4		小児外科	19	2.79	419	2	3						
	整形外科	9	3.00	000	3	3		整形外科	9	2.56	726	1	3						
	心臓外科	10	3.10	316	3	4		心臓外科	10	2.80	632	1	3						
	眼科	4	3.25	500	3	4		眼科	5	2.40	548	2	3						
	耳鼻咽喉科	4	3.00	816	2	4		耳鼻咽喉科	4	3.25	500	3	4						
	脳神経外科	8	3.00	535	2	4		脳神経外科	8	3.13	354	3	4						
形成外科	5	3.40	548	3	4	形成外科	5	2.80	837	2	4								
歯科	2	3.50	707	3	4	歯科	2	3.00	000	3	3								
呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.25	500	3	4	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.25	500	3	4								

項目	属性	度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	項目	属性	度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
a37 小児医療の質を向上させなければならない	小児内科	436	3.46	.517	1	4	a39 新薬の開発に関する研究に貢献していきたい	小児内科	432	2.98	.549	2	4
	神経内科	19	3.63	.496	3	4		神経内科	19	3.26	.452	3	4
	循環器科	33	3.30	.585	2	4		循環器科	33	3.03	.637	1	4
	麻酔科	16	3.44	.512	3	4		麻酔科	16	2.63	.619	1	3
	血液・腫瘍科	63	3.62	.490	3	4		血液・腫瘍科	62	3.10	.620	1	4
	未熟児・新生児科	71	3.44	.499	3	4		未熟児・新生児科	71	2.97	.585	2	4
	腎臓・泌尿器科	35	3.57	.502	3	4		腎臓・泌尿器科	35	3.00	.642	2	4
	精神・心療内科	12	3.42	.515	3	4		精神・心療内科	12	2.50	.674	1	3
	内分泌・代謝科	10	3.50	.527	3	4		内分泌・代謝科	10	3.10	.568	2	4
	アレルギー・感染症科	17	3.47	.514	3	4		アレルギー・感染症科	16	3.19	.544	2	4
	産婦人科	2	3.00	.000	3	3		産婦人科	2	3.00	.000	3	3
	小児外科	19	3.37	.496	3	4		小児外科	19	2.68	.478	2	3
	整形外科	9	3.22	.441	3	4		整形外科	9	2.44	.726	1	3
	心臓外科	10	3.50	.527	3	4		心臓外科	10	2.70	.675	1	3
	眼科	5	3.20	.447	3	4		眼科	5	2.40	.548	2	3
	耳鼻咽喉科	4	3.25	.500	3	4		耳鼻咽喉科	4	2.50	1.000	1	3
	脳神経外科	8	3.25	.463	3	4		脳神経外科	7	3.00	.577	2	4
	形成外科	5	3.20	.447	3	4		形成外科	5	2.80	.837	2	4
歯科	2	3.00	.000	3	3	歯科	2	3.00	.000	3	3		
呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.25	.500	3	4	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.25	.500	3	4		

<専門領域別> Ab:小児治験の実施に対する意識(阻害要因)の記述統計

項目	属性	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	項目	属性	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
b02 小児治験は入院病棟のある施設で行うことが望ましい	小児内科	438	2.82	.742	1	4	b08 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための労力が負担である	小児内科	435	3.14	.629	2	4
	神経内科	19	2.63	.895	1	4		神経内科	19	3.26	.653	2	4
	循環器科	32	2.66	.653	1	4		循環器科	33	3.15	.867	2	4
	麻酔科	16	3.00	.632	2	4		麻酔科	16	3.25	.856	1	4
	血液・腫瘍科	62	3.03	.701	1	4		血液・腫瘍科	63	2.95	.682	2	4
	未熟児・新生児科	71	3.04	.801	1	4		未熟児・新生児科	71	3.14	.761	1	4
	腎臓・泌尿器科	35	2.77	.877	1	4		腎臓・泌尿器科	35	3.29	.572	2	4
	精神・心療内科	12	2.50	.674	2	4		精神・心療内科	12	3.25	.622	2	4
	内分泌・代謝科	10	2.80	.632	2	4		内分泌・代謝科	10	2.60	.699	2	4
	アレルギー・感染症科	17	2.47	.624	1	3		アレルギー・感染症科	17	3.29	.686	2	4
	産婦人科	2	3.50	.707	3	4		産婦人科	2	2.00	.000	2	2
	小児外科	19	2.84	.688	2	4		小児外科	19	3.21	.631	2	4
	整形外科	9	2.67	.707	1	3		整形外科	9	3.56	.726	2	4
	心臓外科	10	2.90	.568	2	4		心臓外科	10	3.00	.816	2	4
	眼科	5	2.40	.548	2	3		眼科	5	3.60	.548	3	4
	耳鼻咽喉科	4	1.75	.957	1	3		耳鼻咽喉科	4	3.00	.816	2	4
	脳神経外科	7	3.14	.378	3	4		脳神経外科	8	3.00	.535	2	4
	形成外科	5	3.00	.707	2	4		形成外科	5	3.40	.894	2	4
	歯科	2	2.00	.000	2	2		歯科	2	2.00	.000	2	2
呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	.816	2	4	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.50	.577	3	4		
b04 人手不足により日常診療業務をこなすのに精一杯である	小児内科	435	3.18	.643	2	4	b10 小児治験よりも他の研究のために時間を費やしたい	小児内科	433	2.39	.572	1	4
	神経内科	19	3.42	.692	2	4		神経内科	19	2.37	.597	2	4
	循環器科	33	3.36	.489	3	4		循環器科	33	2.33	.692	1	4
	麻酔科	16	2.69	.704	2	4		麻酔科	16	2.38	.806	1	4
	血液・腫瘍科	63	3.38	.607	2	4		血液・腫瘍科	61	2.34	.602	1	4
	未熟児・新生児科	71	3.24	.706	1	4		未熟児・新生児科	70	2.39	.621	1	4
	腎臓・泌尿器科	35	3.26	.657	2	4		腎臓・泌尿器科	33	2.39	.747	1	4
	精神・心療内科	12	3.33	.851	2	4		精神・心療内科	12	2.33	.492	2	3
	内分泌・代謝科	10	2.80	.789	2	4		内分泌・代謝科	10	2.70	.675	2	4
	アレルギー・感染症科	17	3.06	.899	2	4		アレルギー・感染症科	17	2.65	.862	1	4
	産婦人科	2	3.00	1.414	2	4		産婦人科	2	2.50	.707	2	3
	小児外科	19	3.32	.582	2	4		小児外科	19	2.42	.607	2	4
	整形外科	9	3.33	.707	2	4		整形外科	9	2.67	.707	2	4
	心臓外科	10	2.90	.738	2	4		心臓外科	10	2.50	.707	2	4
	眼科	5	3.40	.548	3	4		眼科	5	3.00	.707	2	4
	耳鼻咽喉科	4	3.00	.816	2	4		耳鼻咽喉科	4	3.00	.816	2	4
	脳神経外科	8	3.13	.835	2	4		脳神経外科	7	2.86	.690	2	4
	形成外科	5	3.00	1.000	2	4		形成外科	5	2.80	.837	2	4
	歯科	2	3.00	.000	3	3		歯科	2	2.00	.000	2	2
呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.50	.577	2	3	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.50	.577	2	3		
b06 日常の診療業務に追われていて小児治験に参加する時間的余裕がない	小児内科	437	2.73	.660	1	4	b12 小児治験での手間のかかる煩雑な事務手続きが負担である	小児内科	436	3.23	.573	1	4
	神経内科	19	2.79	1.032	1	4		神経内科	19	3.68	.478	3	4
	循環器科	33	2.82	.635	2	4		循環器科	33	3.24	.792	1	4
	麻酔科	16	2.56	.629	2	4		麻酔科	16	3.50	.516	3	4
	血液・腫瘍科	63	2.75	.718	1	4		血液・腫瘍科	63	3.33	.622	1	4
	未熟児・新生児科	71	2.80	.904	1	4		未熟児・新生児科	70	3.39	.572	2	4
	腎臓・泌尿器科	35	2.83	.785	1	4		腎臓・泌尿器科	35	3.43	.502	3	4
	精神・心療内科	12	2.92	.669	2	4		精神・心療内科	12	3.08	.515	2	4
	内分泌・代謝科	10	2.40	.516	2	3		内分泌・代謝科	10	3.10	.316	3	4
	アレルギー・感染症科	17	2.41	.939	1	4		アレルギー・感染症科	17	3.47	.717	2	4
	産婦人科	2	2.00	.000	2	2		産婦人科	2	3.50	.707	3	4
	小児外科	19	3.00	.577	2	4		小児外科	19	3.21	.535	2	4
	整形外科	9	3.11	.801	2	4		整形外科	9	3.44	.726	2	4
	心臓外科	10	2.50	.707	2	4		心臓外科	9	2.67	.500	2	3
	眼科	5	3.60	.548	3	4		眼科	5	3.40	.548	3	4
	耳鼻咽喉科	4	3.25	.957	2	4		耳鼻咽喉科	4	3.25	.500	3	4
	脳神経外科	8	2.75	.707	2	4		脳神経外科	8	3.13	.641	2	4
	形成外科	5	2.80	1.095	2	4		形成外科	5	3.20	.837	2	4
	歯科	2	2.00	.000	2	2		歯科	2	2.50	.707	2	3
呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.50	.577	2	3	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	.000	3	3		

項目	属性	度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	項目	属性	度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
b14 小児治療について患児へ説明することが難しい	小児内科	435	2.89	.673	1	4	b20 小児治療に対して興味や関心がない	小児内科	435	1.81	.577	1	4
	神経内科	19	2.89	.737	1	4		神経内科	19	1.68	.478	1	2
	循環器科	33	2.91	.765	2	4		循環器科	33	1.79	.650	1	4
	麻酔科	16	2.81	.655	2	4		麻酔科	16	2.00	.516	1	3
	血液・腫瘍科	62	2.82	.587	2	4		血液・腫瘍科	62	1.61	.523	1	3
	未熟児・新生児科	71	3.07	.704	1	4		未熟児・新生児科	70	1.73	.536	1	3
	腎臓・泌尿器科	35	2.97	.664	2	4		腎臓・泌尿器科	35	1.63	.598	1	3
	精神・心療内科	12	2.83	.577	2	4		精神・心療内科	12	2.33	.492	2	3
	内分泌・代謝科	10	2.80	1.033	1	4		内分泌・代謝科	10	1.70	.483	1	2
	アレルギー・感染症科	17	2.82	.636	2	4		アレルギー・感染症科	17	1.65	.606	1	3
	産婦人科	2	2.50	.707	2	3		産婦人科	2	1.50	.707	1	2
	小児外科	19	2.95	.705	2	4		小児外科	19	2.11	.459	1	3
	整形外科	9	3.00	.500	2	4		整形外科	9	2.11	.601	1	3
	心臓外科	10	2.80	.789	2	4		心臓外科	10	1.70	.483	1	2
	眼科	5	3.00	1.000	2	4		眼科	5	2.20	.447	2	3
	耳鼻咽喉科	4	3.50	.577	3	4		耳鼻咽喉科	4	2.00	.816	1	3
	脳神経外科	8	2.88	.641	2	4		脳神経外科	8	1.88	.641	1	3
	形成外科	5	3.40	.548	3	4		形成外科	5	2.40	.894	1	3
歯科	2	2.50	.707	2	3	歯科	2	2.00	.000	2	2		
呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	.000	3	3	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.00	.816	1	3		
b16 小児治療は責任が重大であり負担である	小児内科	433	2.82	.615	1	4	b22 小児治療の参加について患児の理解と同意を得ることができない	小児内科	431	2.36	.631	1	4
	神経内科	19	2.84	.688	2	4		神経内科	19	2.16	.765	1	4
	循環器科	33	2.67	.692	1	4		循環器科	33	2.15	.566	1	4
	麻酔科	16	2.88	.719	2	4		麻酔科	15	2.40	.507	2	3
	血液・腫瘍科	62	2.79	.681	2	4		血液・腫瘍科	62	2.24	.670	1	4
	未熟児・新生児科	70	2.89	.692	1	4		未熟児・新生児科	71	2.56	.890	1	4
	腎臓・泌尿器科	35	2.86	.772	2	4		腎臓・泌尿器科	35	2.46	.741	1	4
	精神・心療内科	12	2.75	.622	2	4		精神・心療内科	12	2.33	.778	1	4
	内分泌・代謝科	10	2.80	.632	2	4		内分泌・代謝科	9	2.33	.866	1	4
	アレルギー・感染症科	17	2.88	.697	2	4		アレルギー・感染症科	17	2.18	.636	1	3
	産婦人科	2	2.00	.000	2	2		産婦人科	2	2.50	.707	2	3
	小児外科	19	2.79	.535	2	4		小児外科	19	2.58	.838	2	4
	整形外科	9	3.11	.333	3	4		整形外科	9	2.56	.527	2	3
	心臓外科	10	2.10	.568	1	3		心臓外科	10	2.50	.850	2	4
	眼科	5	3.20	.447	3	4		眼科	5	2.80	.837	2	4
	耳鼻咽喉科	4	3.25	.500	3	4		耳鼻咽喉科	4	3.00	.816	2	4
	脳神経外科	7	2.57	.787	2	4		脳神経外科	7	2.14	.378	2	3
	形成外科	5	3.00	.707	2	4		形成外科	5	2.80	.837	2	4
歯科	2	2.00	.000	2	2	歯科	2	3.00	.000	3	3		
呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.75	.500	2	3	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.75	.500	2	3		
b18 小児治療について保護者へ説明することが難しい	小児内科	435	2.82	.685	1	4	b24 小児治療に関する作業内容がわからない	小児内科	434	2.40	.677	1	4
	神経内科	19	2.47	.841	1	4		神経内科	19	2.37	.761	1	4
	循環器科	33	2.79	.857	1	4		循環器科	33	2.33	.736	1	4
	麻酔科	16	2.88	.619	2	4		麻酔科	16	2.56	.629	1	3
	血液・腫瘍科	62	2.60	.639	2	4		血液・腫瘍科	62	2.19	.568	1	4
	未熟児・新生児科	70	2.96	.731	1	4		未熟児・新生児科	70	2.43	.714	1	4
	腎臓・泌尿器科	35	2.86	.692	2	4		腎臓・泌尿器科	34	2.44	.613	1	3
	精神・心療内科	12	2.92	.669	2	4		精神・心療内科	12	2.50	.522	2	3
	内分泌・代謝科	10	2.70	.823	1	4		内分泌・代謝科	10	2.00	.471	1	3
	アレルギー・感染症科	17	3.06	.659	2	4		アレルギー・感染症科	17	1.82	.809	1	3
	産婦人科	2	2.00	.000	2	2		産婦人科	2	1.50	.707	1	2
	小児外科	19	2.84	.688	2	4		小児外科	19	2.58	.692	1	4
	整形外科	9	3.11	.333	3	4		整形外科	9	2.44	.527	2	3
	心臓外科	10	2.30	.675	1	3		心臓外科	10	2.50	.707	2	4
	眼科	5	3.40	.894	2	4		眼科	5	2.60	.548	2	3
	耳鼻咽喉科	4	2.75	.957	2	4		耳鼻咽喉科	4	2.25	.500	2	3
	脳神経外科	7	3.00	.577	2	4		脳神経外科	7	2.57	.535	2	3
	形成外科	5	3.60	.548	3	4		形成外科	5	3.00	.707	2	4
歯科	2	2.00	.000	2	2	歯科	2	3.00	.000	3	3		
呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.25	.500	2	3	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.50	.577	2	3		

項目	属性	人数	割合	性別	年齢	項目	属性	人数	割合	性別	年齢		
b26 小児治療の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない	小児内科	435	2.31	577	1	4	b32 小児治療の実施について詳細を知る機会がない	小児内科	434	2.58	634	1	4
	神経内科	19	2.21	831	1	4		神経内科	19	2.26	733	1	4
	循環器科	33	2.21	600	1	3		循環器科	33	2.70	585	1	4
	麻酔科	15	2.33	488	2	3		麻酔科	15	2.93	594	2	4
	血液・腫瘍科	62	2.19	538	1	4		血液・腫瘍科	62	2.55	670	1	4
	未熟児・新生児科	71	2.38	799	1	4		未熟児・新生児科	71	2.82	661	2	4
	腎臓・泌尿器科	34	2.26	618	1	4		腎臓・泌尿器科	35	2.63	690	1	4
	精神・心療内科	12	2.17	577	1	3		精神・心療内科	12	2.67	492	2	3
	内分泌・代謝科	10	2.40	843	1	4		内分泌・代謝科	10	2.30	675	1	3
	アレルギー・感染症科	17	1.94	748	1	3		アレルギー・感染症科	17	2.00	707	1	3
	産婦人科	2	2.00	000	2	2		産婦人科	2	2.50	707	2	3
	小児外科	19	2.37	496	2	3		小児外科	19	2.84	501	2	4
	整形外科	9	2.67	500	2	3		整形外科	8	2.88	354	2	3
	心臓外科	10	2.50	707	2	4		心臓外科	10	2.50	707	1	3
	眼科	5	2.20	447	2	3		眼科	4	3.00	000	3	3
	耳鼻咽喉科	4	2.25	500	2	3		耳鼻咽喉科	4	2.75	957	2	4
	脳神経外科	7	2.29	756	1	3		脳神経外科	8	2.75	463	2	3
	形成外科	5	2.40	548	2	3		形成外科	5	3.20	447	3	4
	歯科	2	2.50	707	2	3		歯科	2	3.00	000	3	3
	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.75	500	2	3		呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	000	3	3
b28 有害事象時の対応が可能か不安である	小児内科	434	2.76	613	1	4	b34 小児治療の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない	小児内科	429	2.23	570	1	4
	神経内科	19	2.37	496	2	3		神経内科	19	2.00	577	1	3
	循環器科	33	2.70	585	1	4		循環器科	33	2.21	545	1	3
	麻酔科	16	2.94	443	2	4		麻酔科	15	2.40	507	2	3
	血液・腫瘍科	62	2.56	617	2	4		血液・腫瘍科	62	2.05	493	1	4
	未熟児・新生児科	71	2.82	661	1	4		未熟児・新生児科	71	2.25	691	1	4
	腎臓・泌尿器科	35	2.71	667	1	4		腎臓・泌尿器科	35	2.20	531	1	3
	精神・心療内科	12	2.75	452	2	3		精神・心療内科	12	2.08	515	1	3
	内分泌・代謝科	10	2.40	699	1	3		内分泌・代謝科	10	2.10	568	1	3
	アレルギー・感染症科	17	2.29	686	1	3		アレルギー・感染症科	16	1.88	619	1	3
	産婦人科	2	2.50	707	2	3		産婦人科	2	2.00	000	2	2
	小児外科	19	3.00	333	2	4		小児外科	19	2.47	612	2	4
	整形外科	9	3.33	500	3	4		整形外科	9	2.67	500	2	3
	心臓外科	10	2.50	527	2	3		心臓外科	10	2.10	568	1	3
	眼科	5	3.20	447	3	4		眼科	5	2.20	447	2	3
	耳鼻咽喉科	4	2.25	957	1	3		耳鼻咽喉科	4	2.00	816	1	3
	脳神経外科	8	2.63	518	2	3		脳神経外科	7	2.43	535	2	3
	形成外科	5	3.40	548	3	4		形成外科	5	2.40	548	2	3
	歯科	2	3.00	000	3	3		歯科	2	2.00	000	2	2
	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	000	3	3		呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.25	500	2	3
b30 小児治療の参加について保護者の理解と同意を得ることができない	小児内科	431	2.15	557	1	4	b36 子どもを対象として治療を行うことがためらわれる	小児内科	434	2.10	549	1	4
	神経内科	19	1.95	524	1	3		神経内科	19	1.95	524	1	3
	循環器科	33	2.15	508	1	3		循環器科	33	2.03	394	1	3
	麻酔科	15	2.20	561	1	3		麻酔科	15	2.00	378	1	3
	血液・腫瘍科	62	2.11	483	1	3		血液・腫瘍科	62	1.92	522	1	4
	未熟児・新生児科	71	2.14	593	1	4		未熟児・新生児科	71	2.14	761	1	4
	腎臓・泌尿器科	35	1.97	618	1	4		腎臓・泌尿器科	35	1.89	718	1	3
	精神・心療内科	12	2.25	452	2	3		精神・心療内科	12	2.25	452	2	3
	内分泌・代謝科	10	1.90	316	1	2		内分泌・代謝科	9	1.78	667	1	3
	アレルギー・感染症科	17	1.82	529	1	3		アレルギー・感染症科	17	1.71	470	1	2
	産婦人科	2	2.00	000	2	2		産婦人科	2	2.00	000	2	2
	小児外科	19	2.21	535	1	3		小児外科	19	2.21	535	1	3
	整形外科	9	2.44	527	2	3		整形外科	9	2.56	527	2	3
	心臓外科	10	2.00	471	1	3		心臓外科	10	2.00	471	1	3
	眼科	4	2.75	957	2	4		眼科	5	3.00	000	3	3
	耳鼻咽喉科	4	2.00	816	1	3		耳鼻咽喉科	4	2.00	816	1	3
	脳神経外科	6	2.17	753	1	3		脳神経外科	7	2.43	535	2	3
	形成外科	5	2.60	894	2	4		形成外科	5	2.40	548	2	3
	歯科	2	2.00	000	2	2		歯科	2	2.00	000	2	2
	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.25	500	2	3		呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.25	500	2	3

項目	属性	度数	平均値	重複 基準	最小 値	最大 値	項目	属性	度数	平均値	重複 基準	最小 値	最大 値
b38 小児治療に参加しようとする 患児や保護者は少ない	小児内科	432	2.51	639	1	4	b40 経験済みの使い慣れた薬物 で治療を進めたい	小児内科	426	2.55	605	1	4
	神経内科	19	2.16	602	1	3		神経内科	18	2.44	616	1	3
	循環器科	33	2.55	711	2	4		循環器科	33	2.52	667	1	4
	麻酔科	16	2.63	719	2	4		麻酔科	15	2.67	488	2	3
	血液・腫瘍科	63	2.33	741	1	4		血液・腫瘍科	62	2.35	603	1	4
	未熟児・新生児科	71	2.51	754	1	4		未熟児・新生児科	71	2.63	741	1	4
	腎臓・泌尿器科	35	2.43	608	1	4		腎臓・泌尿器科	35	2.49	658	2	4
	精神・心療内科	12	2.83	577	2	4		精神・心療内科	12	2.83	369	2	3
	内分泌・代謝科	10	2.50	850	2	4		内分泌・代謝科	10	2.50	527	2	3
	アレルギー・感染症科	17	2.65	702	1	4		アレルギー・感染症科	17	2.41	618	1	3
	産婦人科	2	2.50	707	2	3		産婦人科	2	2.00	1,414	1	3
	小児外科	19	2.68	671	2	4		小児外科	19	2.53	513	2	3
	整形外科	8	2.38	744	1	3		整形外科	9	2.89	601	2	4
	心臓外科	10	2.30	675	1	3		心臓外科	10	2.40	699	1	3
	眼科	5	3.20	837	2	4		眼科	5	2.80	447	2	3
	耳鼻咽喉科	4	3.00	816	2	4		耳鼻咽喉科	4	2.75	500	2	3
	脳神経外科	7	2.14	690	1	3		脳神経外科	7	2.57	535	2	3
形成外科	5	3.00	707	2	4	形成外科	5	2.20	837	1	3		
歯科	2	2.00	000	2	2	歯科	2	2.00	1,414	1	3		
呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.25	500	2	3	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.75	500	2	3		

<専門領域別> B:小児治療の課題に対する意識の記述統計

項目	属性	度数	平均	前位 順位	小 小 位	最大 位	項目	属性	度数	平均	前位 順位	小 小 位	最大 位
41 患児の代理判断の仕組みについて検討する必要がある	小児内科	433	3.01	461	1	4	44 患児との間に良好な信頼関係を築く必要がある	小児内科	435	3.39	511	1	4
	神経内科	19	3.11	315	3	4		神経内科	19	3.53	513	3	4
	循環器科	32	2.81	397	2	3		循環器科	33	3.33	540	2	4
	麻酔科	16	3.00	000	3	3		麻酔科	16	3.44	512	3	4
	血液・腫瘍科	63	3.10	499	2	4		血液・腫瘍科	63	3.41	528	2	4
	未熟児・新生児科	71	3.10	565	2	4		未熟児・新生児科	71	3.48	531	2	4
	腎臓・泌尿器科	35	3.09	612	2	4		腎臓・泌尿器科	35	3.51	507	3	4
	精神・心療内科	12	3.00	000	3	3		精神・心療内科	12	3.50	522	3	4
	内分泌・代謝科	10	3.00	667	2	4		内分泌・代謝科	10	3.10	568	2	4
	アレルギー・感染症科	17	2.82	393	2	3		アレルギー・感染症科	17	3.35	493	3	4
	産婦人科	2	3.00	000	3	3		産婦人科	2	3.00	000	3	3
	小児外科	19	2.84	602	2	4		小児外科	19	3.21	419	3	4
	整形外科	8	2.75	463	2	3		整形外科	9	3.22	441	3	4
	心臓外科	10	2.80	632	2	4		心臓外科	10	3.10	316	3	4
	眼科	5	2.80	447	2	3		眼科	5	3.00	000	3	3
	耳鼻咽喉科	4	3.00	000	3	3		耳鼻咽喉科	4	3.00	616	2	4
	脳神経外科	8	3.00	000	3	3		脳神経外科	8	3.38	518	3	4
	形成外科	5	3.40	548	3	4		形成外科	5	3.40	894	2	4
	歯科	2	3.00	000	3	3		歯科	2	3.50	707	3	4
	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	000	3	3		呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.75	500	2	3
42 患児や保護者とのトラブル発生時の支援体制があると良い	小児内科	436	3.35	486	2	4	45 開業医でも参加しやすいシステムが整備されると良い	小児内科	435	3.08	550	1	4
	神経内科	19	3.58	507	3	4		神経内科	19	3.53	513	3	4
	循環器科	33	3.42	502	3	4		循環器科	32	2.94	619	1	4
	麻酔科	16	3.31	479	3	4		麻酔科	16	3.06	443	2	4
	血液・腫瘍科	63	3.43	588	1	4		血液・腫瘍科	62	3.05	528	2	4
	未熟児・新生児科	71	3.49	557	2	4		未熟児・新生児科	71	3.08	649	2	4
	腎臓・泌尿器科	35	3.51	507	3	4		腎臓・泌尿器科	35	3.09	658	2	4
	精神・心療内科	12	3.33	492	3	4		精神・心療内科	12	3.17	389	3	4
	内分泌・代謝科	10	3.30	675	2	4		内分泌・代謝科	10	3.20	632	2	4
	アレルギー・感染症科	17	3.12	332	3	4		アレルギー・感染症科	17	2.94	748	1	4
	産婦人科	2	3.00	000	3	3		産婦人科	2	3.00	000	3	3
	小児外科	19	3.28	452	3	4		小児外科	19	2.95	705	1	4
	整形外科	9	3.33	500	3	4		整形外科	9	3.00	500	2	4
	心臓外科	10	3.10	316	3	4		心臓外科	10	3.10	316	3	4
	眼科	5	3.60	548	3	4		眼科	5	3.00	000	3	3
	耳鼻咽喉科	4	3.00	000	3	3		耳鼻咽喉科	4	3.25	500	3	4
	脳神経外科	8	3.50	535	3	4		脳神経外科	7	2.57	787	2	4
	形成外科	5	3.80	447	3	4		形成外科	5	3.00	707	2	4
	歯科	2	3.00	000	3	3		歯科	2	3.00	000	3	3
	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.25	500	3	4		呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	000	3	3
43 専門性の高い小児治療コーディネーターを育成する必要がある	小児内科	435	3.33	531	1	4	46 「実験台にされる」という小児治療に対する被害的なイメージを覆っていく必要がある	小児内科	436	3.24	533	1	4
	神経内科	19	3.58	507	3	4		神経内科	19	3.21	631	2	4
	循環器科	33	3.27	626	2	4		循環器科	33	3.12	600	2	4
	麻酔科	15	3.27	458	3	4		麻酔科	16	3.31	479	3	4
	血液・腫瘍科	63	3.51	535	2	4		血液・腫瘍科	63	3.33	648	1	4
	未熟児・新生児科	71	3.45	604	1	4		未熟児・新生児科	71	3.34	608	2	4
	腎臓・泌尿器科	35	3.54	505	3	4		腎臓・泌尿器科	35	3.43	502	3	4
	精神・心療内科	12	3.50	522	3	4		精神・心療内科	12	3.33	651	2	4
	内分泌・代謝科	10	3.30	483	3	4		内分泌・代謝科	10	3.40	516	3	4
	アレルギー・感染症科	17	3.47	514	3	4		アレルギー・感染症科	17	3.41	618	2	4
	産婦人科	2	3.50	707	3	4		産婦人科	2	3.00	000	3	3
	小児外科	19	3.26	452	3	4		小児外科	19	3.11	459	2	4
	整形外科	9	3.22	441	3	4		整形外科	9	3.44	527	3	4
	心臓外科	10	3.10	316	3	4		心臓外科	10	3.10	316	3	4
	眼科	5	3.40	548	3	4		眼科	5	3.00	707	2	4
	耳鼻咽喉科	4	3.00	000	3	3		耳鼻咽喉科	4	3.25	500	3	4
	脳神経外科	8	2.88	354	2	3		脳神経外科	8	3.25	463	3	4
	形成外科	5	3.20	837	2	4		形成外科	5	3.20	447	3	4
	歯科	2	3.50	707	3	4		歯科	2	3.00	000	3	3
	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.25	500	3	4		呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.25	500	3	4

項目	属性	度数	平均値	目標 差率	最小値	最大値	項目	属性	度数	平均値	目標 差率	最小値	最大値
47 小児治療への認識を高めるために情報公開をする必要がある	小児内科	436	3.31	491	1	4	50 製薬会社へのインセンティブを考慮する必要がある	小児内科	428	3.09	549	1	4
	神経内科	19	3.32	671	2	4		神経内科	19	3.26	452	3	4
	循環器科	33	3.24	502	2	4		循環器科	32	3.09	530	2	4
	麻酔科	16	3.31	602	2	4		麻酔科	15	2.73	458	2	3
	血液・腫瘍科	63	3.40	583	2	4		血液・腫瘍科	62	3.16	549	2	4
	未熟児・新生児科	70	3.39	546	2	4		未熟児・新生児科	70	3.20	580	2	4
	腎臓・泌尿器科	35	3.37	547	2	4		腎臓・泌尿器科	34	3.12	591	2	4
	精神・心療内科	12	3.42	515	3	4		精神・心療内科	12	3.42	515	3	4
	内分泌・代謝科	10	3.20	632	2	4		内分泌・代謝科	9	2.67	707	2	4
	アレルギー・感染症科	17	3.24	437	3	4		アレルギー・感染症科	17	3.06	659	2	4
	産婦人科	2	3.00	000	3	3		産婦人科	2	3.00	000	3	3
	小児外科	19	3.16	501	2	4		小児外科	19	3.00	333	2	4
	整形外科	9	3.11	601	2	4		整形外科	9	3.00	500	2	4
	心臓外科	10	3.00	667	2	4		心臓外科	10	3.00	667	2	4
	眼科	5	3.00	707	2	4		眼科	5	3.20	447	3	4
	耳鼻咽喉科	4	3.25	500	3	4		耳鼻咽喉科	4	3.25	500	3	4
	脳神経外科	8	3.25	463	3	4		脳神経外科	7	2.71	488	2	3
	形成外科	5	3.40	548	3	4		形成外科	5	3.20	447	3	4
	歯科	2	3.00	000	3	3		歯科	2	3.00	000	3	3
	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	000	3	3		呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	000	3	3
48 小児治療への参加によって保護者が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	小児内科	435	3.16	529	1	4	51 行政的な小児治療支援システムが構築される必要がある	小児内科	432	3.32	515	2	4
	神経内科	19	3.16	501	2	4		神経内科	19	3.42	507	3	4
	循環器科	33	3.06	496	2	4		循環器科	33	3.33	479	3	4
	麻酔科	15	3.00	535	2	4		麻酔科	15	3.20	561	2	4
	血液・腫瘍科	62	3.32	536	2	4		血液・腫瘍科	62	3.52	620	1	4
	未熟児・新生児科	71	3.27	654	1	4		未熟児・新生児科	71	3.38	570	2	4
	腎臓・泌尿器科	35	3.14	648	2	4		腎臓・泌尿器科	35	3.46	561	2	4
	精神・心療内科	11	3.27	467	3	4		精神・心療内科	12	3.33	492	3	4
	内分泌・代謝科	10	3.10	876	1	4		内分泌・代謝科	10	3.20	632	2	4
	アレルギー・感染症科	17	3.06	659	2	4		アレルギー・感染症科	17	3.24	437	3	4
	産婦人科	2	3.00	000	3	3		産婦人科	2	3.00	000	3	3
	小児外科	19	3.00	333	2	4		小児外科	19	3.21	419	3	4
	整形外科	9	2.89	601	2	4		整形外科	9	3.11	333	3	4
	心臓外科	10	2.90	568	2	4		心臓外科	10	3.30	483	3	4
	眼科	5	3.20	447	3	4		眼科	5	3.20	447	3	4
	耳鼻咽喉科	4	3.25	500	3	4		耳鼻咽喉科	4	3.00	816	2	4
	脳神経外科	8	2.75	463	2	3		脳神経外科	8	3.00	535	2	4
	形成外科	5	3.20	447	3	4		形成外科	5	3.60	548	3	4
	歯科	2	3.00	000	3	3		歯科	2	3.50	707	3	4
	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	000	3	3		呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	816	2	4
49 適応外使用の現状について社会全体に啓発していく必要がある	小児内科	436	3.40	517	2	4	52 保護者との間に良好な信頼関係を築く必要がある	小児内科	435	3.42	521	1	4
	神経内科	19	3.47	513	3	4		神経内科	19	3.58	507	3	4
	循環器科	33	3.39	556	2	4		循環器科	32	3.31	535	2	4
	麻酔科	15	3.47	516	3	4		麻酔科	16	3.56	512	3	4
	血液・腫瘍科	63	3.54	502	3	4		血液・腫瘍科	63	3.51	504	3	4
	未熟児・新生児科	71	3.45	555	2	4		未熟児・新生児科	71	3.41	550	2	4
	腎臓・泌尿器科	35	3.57	502	3	4		腎臓・泌尿器科	35	3.51	507	3	4
	精神・心療内科	12	3.42	515	3	4		精神・心療内科	12	3.50	522	3	4
	内分泌・代謝科	10	3.30	675	2	4		内分泌・代謝科	10	3.30	483	3	4
	アレルギー・感染症科	16	3.50	516	3	4		アレルギー・感染症科	16	3.38	500	3	4
	産婦人科	2	3.00	000	3	3		産婦人科	2	3.00	000	3	3
	小児外科	19	3.11	459	2	4		小児外科	19	3.37	496	3	4
	整形外科	9	3.56	527	3	4		整形外科	9	3.22	441	3	4
	心臓外科	10	3.20	422	3	4		心臓外科	10	3.20	422	3	4
	眼科	5	3.20	447	3	4		眼科	5	3.40	548	3	4
	耳鼻咽喉科	4	3.25	500	3	4		耳鼻咽喉科	4	3.50	577	3	4
	脳神経外科	8	3.25	463	3	4		脳神経外科	8	3.38	518	3	4
	形成外科	5	3.20	447	3	4		形成外科	5	3.80	447	3	4
	歯科	2	3.50	707	3	4		歯科	2	3.50	707	3	4
	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	000	3	3		呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.75	500	2	3



項目	属性	症数	平均年齢	原簿症数	小児科	大人科	項目	属性	症数	平均年齢	原簿症数	小児科	大人科
53 有害事象発生時の支援体制があると良い	小児内科	435	3.45	512	2	4	56 患者自身に利益があるかを中心に考える必要がある	小児内科	432	3.29	592	2	4
	神経内科	19	3.63	496	3	4		神経内科	19	3.37	496	3	4
	循環器科	33	3.45	564	2	4		循環器科	33	3.18	528	2	4
	麻酔科	15	3.40	507	3	4		麻酔科	16	3.31	479	3	4
	血液・腫瘍科	63	3.59	496	3	4		血液・腫瘍科	63	3.35	544	2	4
	未熟児・新生児科	71	3.51	557	2	4		未熟児・新生児科	71	3.39	621	2	4
	腎臓・泌尿器科	35	3.66	482	3	4		腎臓・泌尿器科	35	3.46	611	2	4
	精神・心療内科	12	3.50	522	3	4		精神・心療内科	11	3.18	405	3	4
	内分泌・代謝科	10	3.40	516	3	4		内分泌・代謝科	10	2.80	632	2	4
	アレルギー・感染症科	17	3.28	470	3	4		アレルギー・感染症科	17	3.12	600	2	4
	産婦人科	2	3.00	000	3	3		産婦人科	2	3.00	000	3	3
	小児外科	19	3.37	496	3	4		小児外科	19	3.11	459	2	4
	整形外科	9	3.33	500	3	4		整形外科	9	3.11	333	3	4
	心臓外科	10	3.20	422	3	4		心臓外科	10	3.00	471	2	4
	眼科	5	3.60	548	3	4		眼科	5	3.20	447	3	4
	耳鼻咽喉科	4	3.00	000	3	3		耳鼻咽喉科	4	3.50	577	3	4
	脳神経外科	8	3.38	518	3	4		脳神経外科	8	3.00	535	2	4
形成外科	5	4.00	000	4	4	形成外科	5	3.80	447	3	4		
歯科	2	3.00	000	3	3	歯科	2	4.00	000	4	4		
呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	816	2	4	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	000	3	3		
54 小児治療コーディネーターが病院内に常駐できると良い	小児内科	433	3.28	623	1	4	57 小児治療の必要性について社会全体に啓発していく必要がある	小児内科	435	3.38	504	2	4
	神経内科	19	3.53	612	2	4		神経内科	19	3.58	507	3	4
	循環器科	33	3.06	704	1	4		循環器科	33	3.30	585	2	4
	麻酔科	15	2.93	704	2	4		麻酔科	16	3.19	544	2	4
	血液・腫瘍科	62	3.56	590	2	4		血液・腫瘍科	62	3.47	535	2	4
	未熟児・新生児科	71	3.39	727	1	4		未熟児・新生児科	71	3.45	555	2	4
	腎臓・泌尿器科	35	3.49	562	2	4		腎臓・泌尿器科	35	3.54	505	3	4
	精神・心療内科	12	3.42	515	3	4		精神・心療内科	12	3.42	515	3	4
	内分泌・代謝科	10	3.20	632	2	4		内分泌・代謝科	10	3.30	675	2	4
	アレルギー・感染症科	17	3.47	514	3	4		アレルギー・感染症科	17	3.47	514	3	4
	産婦人科	2	3.00	000	3	3		産婦人科	2	3.00	000	3	3
	小児外科	19	3.26	562	2	4		小児外科	19	3.21	419	3	4
	整形外科	9	2.89	601	2	4		整形外科	9	3.11	601	2	4
	心臓外科	10	3.00	943	1	4		心臓外科	10	3.40	516	3	4
	眼科	5	2.80	837	2	4		眼科	5	3.00	000	3	3
	耳鼻咽喉科	4	3.00	816	2	4		耳鼻咽喉科	4	3.00	816	2	4
	脳神経外科	8	2.88	641	2	4		脳神経外科	8	3.13	354	3	4
形成外科	5	2.60	894	2	4	形成外科	5	3.20	447	3	4		
歯科	2	3.00	000	3	3	歯科	2	3.00	000	3	3		
呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.25	500	3	4	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	000	3	3		
55 保護者だけでなく子ども自身に対しても十分な説明が必要である	小児内科	433	3.24	542	2	4	58 小児治療に精通した医師を養成する必要がある	小児内科	436	3.19	564	1	4
	神経内科	19	3.26	452	3	4		神経内科	19	3.37	684	2	4
	循環器科	32	2.97	474	2	4		循環器科	33	3.12	545	2	4
	麻酔科	16	2.75	683	2	4		麻酔科	15	2.80	775	1	4
	血液・腫瘍科	62	3.37	520	2	4		血液・腫瘍科	62	3.34	599	2	4
	未熟児・新生児科	70	3.27	679	1	4		未熟児・新生児科	71	3.34	631	2	4
	腎臓・泌尿器科	35	3.14	692	2	4		腎臓・泌尿器科	35	3.26	505	2	4
	精神・心療内科	12	3.08	289	3	4		精神・心療内科	12	3.25	622	2	4
	内分泌・代謝科	10	2.90	568	2	4		内分泌・代謝科	10	3.20	422	3	4
	アレルギー・感染症科	17	3.12	781	1	4		アレルギー・感染症科	17	3.24	437	3	4
	産婦人科	2	3.00	000	3	3		産婦人科	2	3.00	000	3	3
	小児外科	19	2.84	501	2	4		小児外科	19	2.89	567	2	4
	整形外科	9	3.11	782	2	4		整形外科	9	2.78	667	2	4
	心臓外科	10	2.80	789	1	4		心臓外科	10	3.20	632	2	4
	眼科	5	2.60	548	2	3		眼科	5	2.80	447	2	3
	耳鼻咽喉科	4	3.00	000	3	3		耳鼻咽喉科	4	3.25	500	3	4
	脳神経外科	8	3.00	535	2	4		脳神経外科	8	2.88	354	2	3
形成外科	5	3.60	548	3	4	形成外科	5	3.20	837	2	4		
歯科	2	3.50	707	3	4	歯科	2	3.00	000	3	3		
呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	000	3	3	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.75	500	2	3		

項目	属性	人数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	項目	属性	人数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
59 小児治療への参加によって 患者が抱える心理社会的問題 へのケアが必要である	小児内科	434	3.12	.549	1	4	60 医師へのインセンティブを 考慮する必要がある	小児内科	429	3.20	.477	2	4
	神経内科	19	3.16	.501	2	4		神経内科	19	3.47	.513	3	4
	循環器科	33	2.97	.585	1	4		循環器科	31	3.06	.629	2	4
	麻酔科	16	2.94	.443	2	4		麻酔科	16	3.13	.619	2	4
	血液・腫瘍科	61	3.31	.593	2	4		血液・腫瘍科	62	3.29	.555	2	4
	未熟児・新生児科	71	3.28	.590	1	4		未熟児・新生児科	70	3.23	.594	1	4
	腎臓・泌尿器科	35	3.09	.562	2	4		腎臓・泌尿器科	34	3.35	.485	3	4
	精神・心療内科	11	3.18	.603	2	4		精神・心療内科	12	3.08	.515	2	4
	内分泌・代謝科	10	3.00	.816	1	4		内分泌・代謝科	9	3.00	.707	2	4
	アレルギー・感染症科	17	3.12	.332	3	4		アレルギー・感染症科	17	3.29	.588	2	4
	産婦人科	2	3.00	.000	3	3		産婦人科	2	3.00	.000	3	3
	小児外科	19	2.95	.229	2	3		小児外科	19	3.16	.375	3	4
	整形外科	9	2.89	.333	2	3		整形外科	9	3.11	.333	3	4
	心臓外科	10	3.00	.471	2	4		心臓外科	10	3.20	.632	2	4
	眼科	5	2.80	.447	2	3		眼科	5	3.20	.447	3	4
	耳鼻咽喉科	4	2.75	.500	2	3		耳鼻咽喉科	4	3.25	.500	3	4
	脳神経外科	8	2.88	.354	2	3		脳神経外科	8	3.00	.535	2	4
	形成外科	5	3.40	.548	3	4		形成外科	5	3.40	.548	3	4
歯科	2	3.00	.000	3	3	歯科	2	3.00	.000	3	3		
呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	.000	3	3	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	3.00	.000	3	3		

<専門領域別> C:小児治療の参加に対する意識の記述統計

項目	属性	人数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	項目	属性	人数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
61 現在自分は小児治療に積極的に取り組んでいる	小児内科	435	2.21	813	1	4	63 現在自分は小児治療に積極的に取り組むことのできる環境にいる	小児内科	435	2.67	700	1	4
	神経内科	19	2.68	820	1	4		神経内科	19	3.05	621	2	4
	循環器科	33	2.03	684	1	3		循環器科	33	2.58	663	1	4
	麻酔科	16	1.56	629	1	3		麻酔科	16	2.19	834	1	3
	血液・腫瘍科	62	2.37	752	1	4		血液・腫瘍科	62	2.77	711	1	4
	未熟児・新生児科	71	1.99	819	1	4		未熟児・新生児科	71	2.51	772	1	4
	腎臓・泌尿器科	35	2.37	1031	1	4		腎臓・泌尿器科	35	2.74	817	1	4
	精神・心療内科	12	2.00	739	1	3		精神・心療内科	12	3.00	603	2	4
	内分泌・代謝科	10	2.40	843	1	4		内分泌・代謝科	10	2.80	632	2	4
	アレルギー・感染症科	17	2.65	931	1	4		アレルギー・感染症科	17	2.94	748	1	4
	産婦人科	2	2.00	000	2	2		産婦人科	2	3.00	000	3	3
	小児外科	19	1.53	612	1	3		小児外科	19	2.32	820	1	4
	整形外科	9	1.44	726	1	3		整形外科	9	2.11	928	1	3
	心臓外科	10	2.00	816	1	4		心臓外科	10	2.90	738	1	4
	眼科	5	1.40	548	1	2		眼科	5	1.80	548	1	2
	耳鼻咽喉科	4	2.00	816	1	3		耳鼻咽喉科	4	2.50	577	2	3
	脳神経外科	7	2.00	577	1	3		脳神経外科	7	2.71	951	1	4
形成外科	5	1.20	447	1	2	形成外科	5	2.40	894	1	3		
歯科	2	2.50	2121	1	4	歯科	2	2.00	000	2	2		
呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	1.75	500	1	2	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.75	500	2	3		
62 自分には小児治療に取り組むための知識・技能がある	小児内科	433	2.27	743	1	4	64 今後は自分は小児治療に積極的に取り組んでいきたい	小児内科	430	2.78	590	1	4
	神経内科	18	2.61	808	1	3		神経内科	19	3.05	524	2	4
	循環器科	33	2.27	801	1	4		循環器科	33	2.76	663	1	4
	麻酔科	16	1.94	680	1	3		麻酔科	15	2.53	640	1	3
	血液・腫瘍科	62	2.35	726	1	4		血液・腫瘍科	61	3.05	590	1	4
	未熟児・新生児科	71	2.10	796	1	4		未熟児・新生児科	71	2.73	808	1	4
	腎臓・泌尿器科	35	2.43	739	1	4		腎臓・泌尿器科	34	2.82	716	1	4
	精神・心療内科	12	2.08	669	1	3		精神・心療内科	11	2.27	467	2	3
	内分泌・代謝科	10	2.40	516	2	3		内分泌・代謝科	10	2.80	789	1	4
	アレルギー・感染症科	17	2.88	781	2	4		アレルギー・感染症科	17	3.18	529	2	4
	産婦人科	2	2.50	707	2	3		産婦人科	2	2.50	707	2	3
	小児外科	19	1.74	562	1	3		小児外科	19	2.58	507	2	3
	整形外科	9	1.78	833	1	3		整形外科	9	2.22	972	1	3
	心臓外科	10	2.10	738	1	3		心臓外科	10	2.60	699	1	3
	眼科	5	1.20	447	1	2		眼科	5	1.80	447	1	2
	耳鼻咽喉科	4	2.75	500	2	3		耳鼻咽喉科	4	2.50	577	2	3
	脳神経外科	7	2.57	787	1	3		脳神経外科	8	2.75	707	2	4
形成外科	5	2.00	707	1	3	形成外科	5	2.20	447	2	3		
歯科	2	3.00	000	3	3	歯科	2	3.00	000	3	3		
呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.25	500	2	3	呼吸器科・消化器科 皮膚科・その他	4	2.50	577	2	3		

<専門領域別> Aa:小児治験の実施に対する意識(促進要因)得点の差 (分散分析)

項目		自由度	F 値	有意確率
a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	グループ間 グループ内	18 758	2.098	0.005
a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない	グループ間 グループ内	18 728	2.565	0.000
a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある	グループ間 グループ内	18 758	2.986	0.000
a07 小児治験によって得られるデータは有用である	グループ間 グループ内	18 754	1.221	0.237
a09 オフラベル(適応外使用)問題を解決することが望ましい	グループ間 グループ内	18 758	1.290	0.186
a11 小児治験に参加すると研究費が病院の収入になるのが良い	グループ間 グループ内	18 745	1.197	0.256
a13 未承認薬でも必要とする患児がいるため使用せざるを得ない	グループ間 グループ内	18 755	2.324	0.001
a15 小児治験への参加は小児科医として必要である	グループ間 グループ内	18 749	1.922	0.012
a17 小児用薬品の安全性の確保が必要である	グループ間 グループ内	18 759	1.118	0.329
a19 小児治験に参加することで医師も新たな知識を得ることができる	グループ間 グループ内	18 756	1.860	0.016
a21 安全性が確認された治療薬の選択肢が乏しい	グループ間 グループ内	18 757	1.687	0.037
a23 小児治験に参加することで医師も学問的関与の機会が増える	グループ間 グループ内	18 755	1.017	0.438
a25 小児用薬剤の安全性の検討は成人用と比べて極めて少ない	グループ間 グループ内	18 757	1.706	0.034
a27 新薬が早く開発されることによって助かる命も多くなる	グループ間 グループ内	18 755	2.972	0.000
a29 根拠に基づく科学的な医療が行われなければならない	グループ間 グループ内	18 755	1.458	0.098
a31 新薬を使用することは患児への貢献となる	グループ間 グループ内	18 739	1.858	0.016
a33 小児用医薬品についてエビデンスを積み重ねなければならない	グループ間 グループ内	18 757	1.323	0.165
a35 有効な治療薬の開発に寄与したい	グループ間 グループ内	18 750	3.207	0.000
a37 小児医療の質を向上させなければならない	グループ間 グループ内	18 757	1.319	0.168
a39 新薬の開発に関する研究に貢献していきたい	グループ間 グループ内	18 750	2.642	0.000